



2014年4月2日

ほっとニュース No.52



上山高原エコミュージアムの“ほっと”なニュースをお届けします。

◆上山の自然は今どんな状況？

～平成25年度モニタリング報告会から～

平成25年度の調査研究のまとめ「モニタリング報告会」を〇月〇日に開催しました。「ススキ草原の復元作業」「ブナの森の復元作業」「植物の植生、再生調査」「動物等の生息調査」など、たいへん貴重な報告会でした。

・神戸大学名誉教授武田先生から、山焼き、ササ、ススキなどの刈り取り、放牧実験後の詳細な調査で、希少植物や出現個体の変化等、植物の保護、再生には、作業時期、作業の継続が重要とのお話がありました。

・イネワシ研究会・三谷氏から、イネワシ生息調査では、残念ながらツガイでは発見できなかったとのこと、心配されます。また、クマタカやルリビタキ等野鳥の生息状況を写真を交えて報告していただきました。

・県創造協会・栃本氏からは草原化の指標生物①「チョウ類の生息」の報告がありました。

・上山エコ調査研究部・山本部長からは②「クモ類」、③「ノウサギ」、④「フロラ(植物相)」、同じく中澤氏からは「スミレ科、ユリ科植物」の各調査について報告がありました。植物はおよそ100種類、希少種や上山でしか発見されていないクモも確認されたとのこと。

これらの報告を指標に貴重な上山高原の維持管理に努めていきます。



＜＜視察研修に行ってきました＞＞

2月25日～26日、鳥根県奥出雲、横田町(旧横田町と旧仁多町)で、上山高原自然活用促進協議会と共催で視察研修を行いました。ご当地は「出雲そば」が有名ですが、「コシヒカリ米」は全国品評会で金賞を受賞、また、古くから「仁多牛」として和牛の産地です。冬季は積雪もあり我々の地域環境によく似ています。わが地にも「うみやあなあ米」「但馬牛」などがありますよ～！(自慢の声)道の駅「横田蔵市」では、一般的な農産物販売だけでなく高齢化対策として宅配サービスを実施。



さらに、生ごみを「たい肥」として流通するなど様々な取組みを学びました。全国6割の生産シェアを占めるそろばんや伝統織物、酒蔵の館なども見学。また、平成の大遷宮「出雲大社」では、本殿のしめ縄は5t! 遠い昔の本殿は高さがなんと94mもあったそうです。

歴史とふれあい、上山での農産物販売の活性化におおいに参考になった研修でした。

